



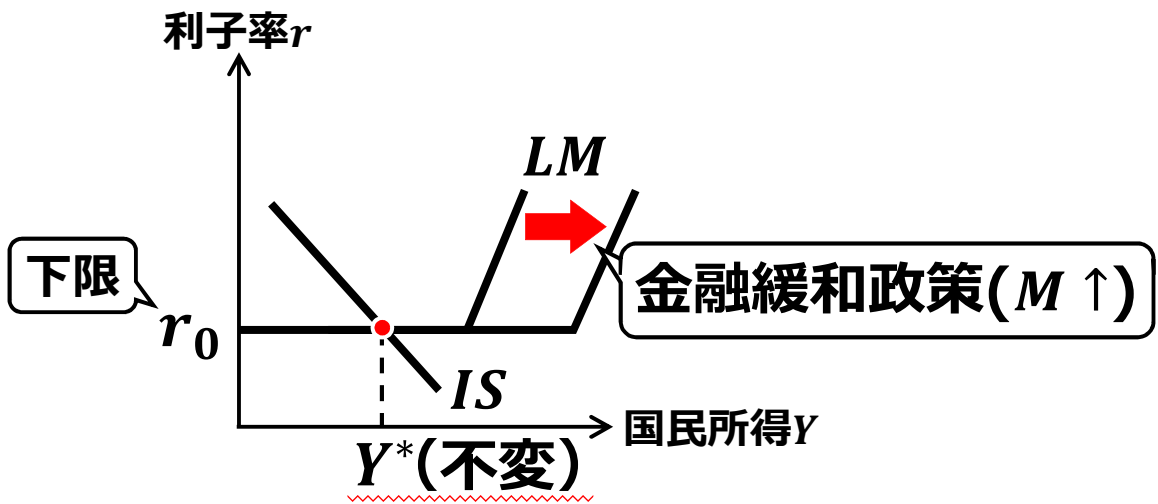
経済学用語集
流動性の罭

講師：加藤 真也

流動性の罠

多くの人が「これ以上は下がらないだろう」と考える最低水準

： 利子率 r が下限になっており、
金融政策が無効になってしまう
状態のこと



前提知識

現金・預金

国債(・社債)

① (金融)資産 = 貨幣 + 債券

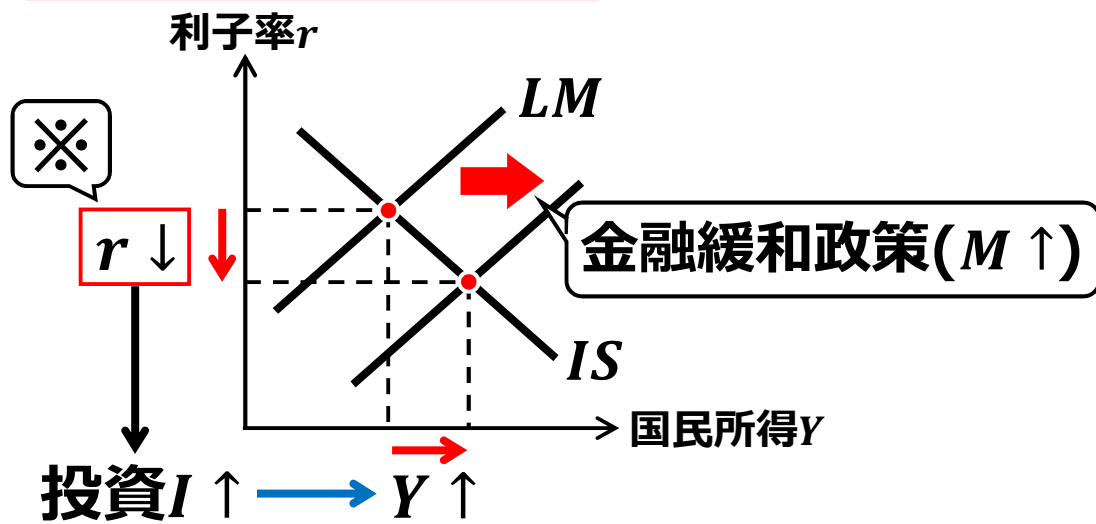
② 債券を投機として買う人がいる

安く買って高く売って儲けること

③ 債券の需要 $\uparrow \Rightarrow$ 債券価格 \uparrow
||
利子率 $r \downarrow$

通常のケース

流動性の罨ではない



※ なぜ $M \uparrow \Rightarrow r \downarrow$ なのか？

Step1 日銀が貨幣を増やす($M \uparrow$)

Step2 家計や企業の中には、
増えた貨幣で債券を
買う人もいる

Step3 債券の需要 $\uparrow \Rightarrow$ 債券価格 \uparrow
||
利子率 $r \downarrow$

流動性の罫のケース

$M \uparrow \Rightarrow r \text{ 不変} \Rightarrow I \text{ 不変} \Rightarrow Y \text{ 不変}$

なぜか？

Step1 利子率 r が下限

ものすごく高い

||

債券価格が上限

Step2 日銀が貨幣を増やす($M \uparrow$)

流動性：商品との交換のしやすさ

Step3

値崩れする危険性のある
債券を家計や企業は買わない

流動性の高い貨幣で持っておこう

Step4

債券の需要(不変)

⇒ 債券価格(不変) = r (不変)

ポイント (流動性の罫)

流動性の罫に陥ると

金融緩和政策($M \uparrow$)をしても

人々が債券を買おうとせず

貨幣の形のまま持つため

利子率 r を下げれない

Bond 債券 債券価格 P_B 利率 r (貨幣市場)

